



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ  
コード番号 1762 URL <http://www.takamatsu-cg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朴木 義雄  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 北村 明

TEL 03-3455-8108

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	95,500	△3.3	3,228	△20.9	4,062	△24.1	2,537	△25.3
23年3月期第3四半期	98,770	△18.4	4,079	△13.0	5,353	△8.8	3,395	145.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,676百万円 (△36.2%) 23年3月期第3四半期 4,194百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	68.98	—
23年3月期第3四半期	91.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	128,873	88,840	55.5
23年3月期	139,723	88,358	50.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 71,460百万円 23年3月期 70,428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	14.00	23.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	14.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年2月13日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。  
期末配当金の内訳 24年3月期 特別配当5円00銭 23年3月期 特別配当5円00銭

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	0.5	6,200	△9.1	6,900	△18.6	4,000	4.1	109.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	38,880,000 株	23年3月期	38,880,000 株
24年3月期3Q	2,360,777 株	23年3月期	1,860,735 株
24年3月期3Q	36,781,764 株	23年3月期3Q	37,130,463 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 追加情報 .....	8
4. 補足情報 .....	8
連結受注高、連結売上高の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気後退も、企業の生産活動の回復とともに持ち直しが見られ、被災地の復旧・復興への動きと相まって、消費マインドも徐々に改善の兆しが出てまいりました。

しかしながら、原発事故に起因する潜在的電力不足に加え、米国景気の減速懸念や欧州の財政危機による円高の長期化、株価の低迷など、企業業績に対する不安材料も多く、先行き不透明な状況で推移しております。

建設業界におきましては、公共投資は、政府、地方自治体を中心とした復旧・復興需要が本格化しつつありますが、民間投資は震災後の停滞から依然明確な改善は見られず、労務費の高騰、価格競争の激化等、全体としては厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は95,500百万円（前年同期比3.3%減）となり、利益につきましては、営業利益は3,228百万円（前年同期比20.9%減）、経常利益は4,062百万円（前年同期比24.1%減）、四半期純利益は2,537百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

#### (建築事業)

売上高は48,145百万円（前年同期比9.1%増）となり、セグメント利益は3,210百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

#### (土木事業)

売上高は42,659百万円（前年同期比15.4%減）となり、セグメント利益は664百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

#### (不動産事業)

売上高は4,695百万円（前年同期比10.8%増）となり、セグメント利益は689百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,849百万円減少し、128,873百万円となりました。

その主な要因は、売上債権の回収による受取手形・完成工事未収入金等の減少等によるものです。

#### (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ11,332百万円減少し、40,032百万円となりました。

その主な要因は、仕入債務の支払による支払手形、工事未払金の減少および短期借入金の返済等によるものです。

#### (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ482百万円増加し、88,840百万円となりました。

その主な要因は、利益剰余金の増加および自己株式の増加ならびに連結子会社の自己株式取得に伴う少数株主持分の減少等によるものです。

その結果、純資産比率は、前連結会計年度末に比べ5.7ポイント改善し68.9%となりました。

なお、純資産の額から少数株主持分を控除した自己資本の額は71,460百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.1ポイント改善し55.5%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2012年3月期の通期業績予想につきましては、2011年8月10に公表した予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	60,391	61,266
受取手形・完成工事未収入金等	45,692	32,132
販売用不動産	2,787	2,798
未成工事支出金	1,295	1,183
不動産事業支出金	863	1,318
繰延税金資産	898	687
その他	4,049	4,760
貸倒引当金	△360	△279
流動資産合計	115,619	103,869
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,622	3,068
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	479	494
船舶(純額)	711	1,652
土地	8,780	9,382
リース資産(純額)	48	40
建設仮勘定	358	0
有形固定資産合計	13,000	14,639
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	5,189	5,000
投資不動産(純額)	1,617	287
繰延税金資産	1,247	1,207
その他	5,228	5,829
貸倒引当金	△2,395	△2,187
投資その他の資産合計	10,888	10,137
固定資産合計	24,103	25,003
資産合計	139,723	128,873

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	97	—
工事未払金	20,186	16,289
短期借入金	3,350	—
未払法人税等	1,813	531
未成工事受入金	5,383	6,805
賞与引当金	1,462	695
完成工事補償引当金	123	128
工事損失引当金	149	77
その他	6,541	4,004
流動負債合計	39,107	28,533
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	410	373
退職給付引当金	9,026	9,110
船舶特別修繕引当金	59	77
負ののれん	743	—
その他	2,017	1,937
固定負債合計	12,256	11,498
負債合計	51,364	40,032
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	272	272
利益剰余金	69,991	71,680
自己株式	△2,939	△3,586
株主資本合計	72,324	73,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△209	△247
土地再評価差額金	△1,686	△1,658
その他の包括利益累計額合計	△1,895	△1,905
少数株主持分	17,930	17,380
純資産合計	88,358	88,840
負債純資産合計	139,723	128,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
売上高		
完成工事高	94,531	90,805
不動産事業売上高	4,238	4,695
売上高合計	98,770	95,500
売上原価		
完成工事原価	81,965	79,361
不動産事業売上原価	3,562	3,968
売上原価合計	85,527	83,329
売上総利益		
完成工事総利益	12,566	11,443
不動産事業総利益	676	727
売上総利益合計	13,242	12,171
販売費及び一般管理費	9,163	8,942
営業利益	4,079	3,228
営業外収益		
受取利息	16	2
受取配当金	92	98
負ののれん償却額	1,114	743
その他	247	137
営業外収益合計	1,471	981
営業外費用		
支払利息	134	96
その他	62	51
営業外費用合計	196	147
経常利益	5,353	4,062

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
特別利益		
前期損益修正益	332	—
固定資産売却益	62	4
投資不動産売却益	13	52
負ののれん発生益	493	294
その他	133	0
特別利益合計	1,035	352
特別損失		
前期損益修正損	224	—
投資有価証券評価損	352	145
訴訟関連損失	24	21
その他	204	11
特別損失合計	805	179
税金等調整前四半期純利益	5,583	4,235
法人税、住民税及び事業税	1,335	1,322
法人税等調整額	155	261
法人税等合計	1,490	1,584
少数株主損益調整前四半期純利益	4,092	2,650
少数株主利益	697	113
四半期純利益	3,395	2,537



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,092	2,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	△10
土地再評価差額金	—	36
その他の包括利益合計	101	25
四半期包括利益	4,194	2,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,450	2,527
少数株主に係る四半期包括利益	743	148

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後におこなわれる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

4. 補足情報

連結受注高、連結売上高の状況

区分	前第3四半期累計 (自 2010年4月1日 至 2010年12月31日)		当第3四半期累計 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	
受注高	建築事業	45,106	49.7	40,881	45.0	△4,225	△9.4
	土木事業	41,481	45.7	45,144	49.8	3,662	8.8
	建設事業計	86,587	95.4	86,025	94.8	△562	△0.6
	不動産事業	4,166	4.6	4,695	5.2	529	12.7
	合計	90,754	100.0	90,721	100.0	△33	△0.0
売上高	建築事業	44,122	44.7	48,145	50.4	4,023	9.1
	土木事業	50,409	51.0	42,659	44.7	△7,750	△15.4
	建設事業計	94,531	95.7	90,805	95.1	△3,726	△3.9
	不動産事業	4,238	4.3	4,695	4.9	457	10.8
	合計	98,770	100.0	95,500	100.0	△3,269	△3.3